

オミクロン全員入院見直し

首相、急拡大地域対応で

岸田文雄首相は四日、三面、論説⑩面

重慶伊勢市で年頭記者会見を開き、新型「コロナウイルス「オミクロン株」への対応を巡り、感染が急拡大する地域では、陽性者全員を入院させ、全ての濃厚接触者を宿泊施設待機とする現行の措置を見直す

岸田文雄首相は四日、三

面、論説⑩面

外国人の新規入国を禁止した水際対策の継続の是非を来週に判断する考えも示した。今後は市中感染が

急速に拡大する「最も悪の事態が生じる可能性に備える」と強調。水際対策の骨格は維持しつつ「重症を

国内対策へと移す準備を始める」と述べた。予防、検査、早期治療の枠組みを整えるとともに、「在宅・宿泊療養、入院の体制を強化す

る」と語った。

ワクチンの二回接種を

受けたインド太平洋」の推進を挙げ、首脳外交に強い意欲を示した。ただ、国内外の感染状況を踏まえ、政

府内で検討していた米国、オーストラリア訪問について、十七日召集の通常国会前は見送る考えを示した。

経済分野では、自身が掲

げる「新しい資本主義の実現企業」創出を図った「五年計画」の策定のほか、現へ大胆な挑戦をする」と審議。スタートアップ（新「デジタル田園都市国家構造」）での市民のデジタル投資を増加させることとした。